

秘
肩

源氏物語五拾四帖之生方圖

梅廼舎一枝



源氏物語五拾四瓶、生方由来

享保十三年京都大佛妙法院宮ニ於テ歌會、
 節當流二代目淨雪翁道華為瓶ヲウケテ上覽
 入ニ極仰出サレテ時其節御邊棚ニ源氏物語ノ卷
 粧リ附アリシヲ淨雪淨江兩師心付テ源氏物語
 之心ヲコナシ生花ヲ大庭間在ル御感斜ヲスル御歌會
 度々生花ヲ母モシ則テ源氏五十四帖ノ生花盡ク相調ヒ
 御稱美アリシトナリ是則テ五拾四帖生方始ナリ

一	桐壺	一	花散里	二	七女
二	帚水	二	須磨	二	玉葛
三	空蟬	三	明石	三	蝴蝶
四	夕顔	四	深澤	四	初音
五	若紫	五	蓬生	五	螢火
六	才摘花	六	閑屋	六	常夏
七	紅葉賀	七	繪合	七	篝火
八	花之宴	八	松風	八	野分
九	葵	九	薄雲	九	御幸
一〇	柳	一〇	朝顔	一〇	真木柱

源氏物語生方之番目録

藤袴	梅枝	藤、裏葉	上若菜	下若菜	柏木	横笛	鈴虫	夕雨勢	脚法
三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇
幻	句宮	紅梅	川	橋姫	椎本	結再	早巖	宿り木	吾妻屋
四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇
浮舟	陽火	手習	夢ノ浮橋						
五一	五二	五三	五四						

桐壺

桐菊



III 簾木

数あるは花小
 おあり 花はさき小
 糸系阿ふと
 消るはさき小



五重切 上二重 白二種
 中二重 赤二種
 下重 忍草

IIII 薄雲

つらねん 男にたあひ
 薄雲に
 ちやまひ入し

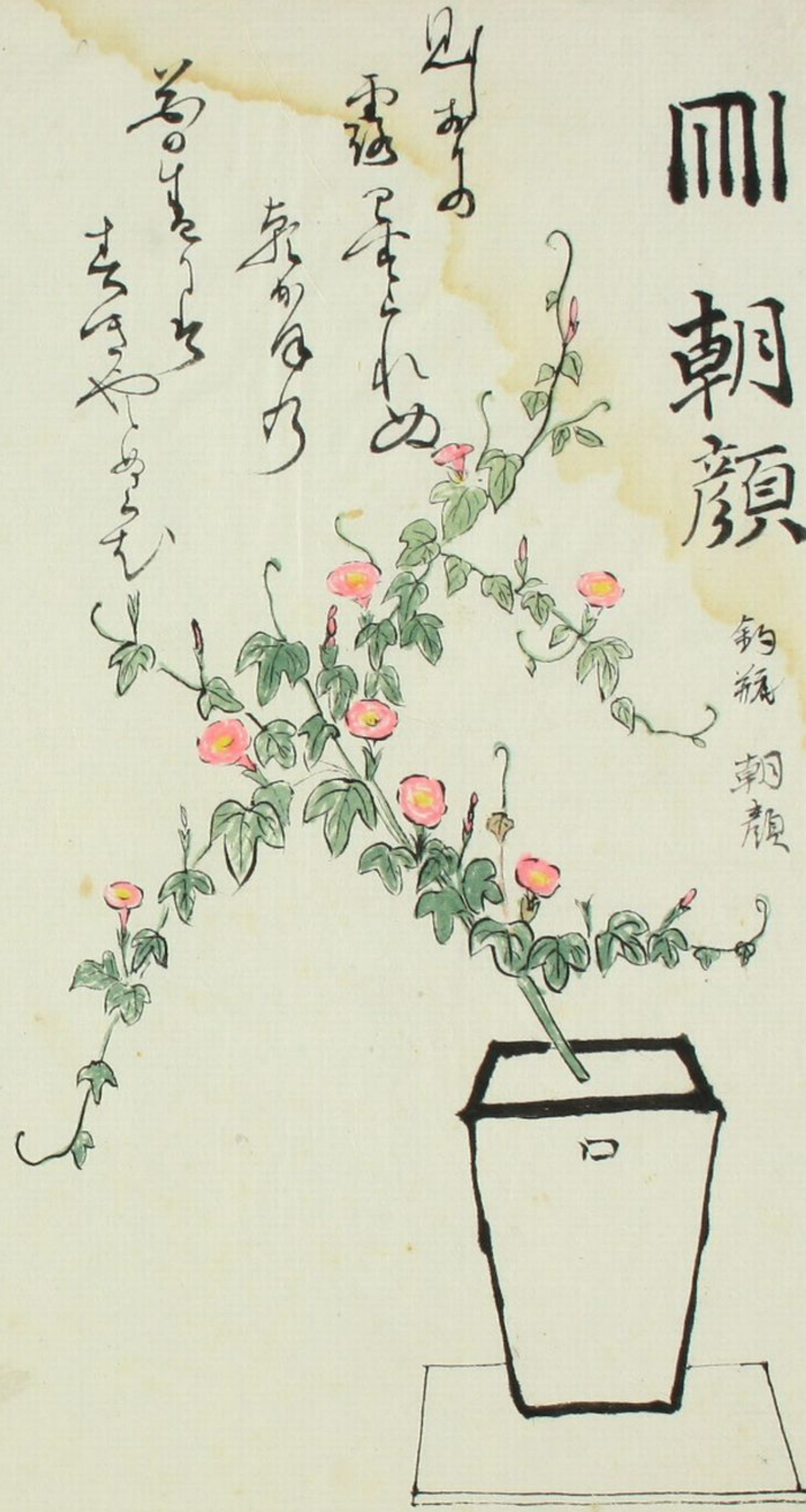
一重切

徳目木
 若花



朝顔

釣瓶 朝顔



山吹の

花は

赤い

花の

葉は

空蟬

一重切種 特品



空蟬

の

葉

は

赤い

水指
紫花



手とりみぎりしあまの
福の島にける花の若くは

夕顔



挿花 夕顔

夕顔
挿花
夕顔
夕顔

末摘花

一重切又掛籠 紅糸又紅あざみ



末摘花は秋にゆきとす

たろや 可なりとれに
ゆきとす

紅葉賀

五附水指 松 紅葉 白子



物思

古きもの

何れもの

そらりちり

ふし

花之宴

置図

柳



二重切梅下

此れは

花の宴

あかあか小

少名うらに
風かえり

藤裏葉



二重切松藤懸葉

春のうらに
うらとげ

花の宴
われもゆき

四 上若菜



懸籠 少松 何吹 子名

少松系了のしほふ

ひかれし

壁のしほふとあふはるる

三 下若菜



置籠

子花七種

道た

しほふ

夕ふ

しほふ

しほふ

しほふ

しほふ

四 柏木

馬鹽

柏 芍芍



可月
 此之煙
 指之
 去之思
 三月

四 花之宴
 而花散里

馬

様



花
 花の宴
 花散里
 山
 左
 右

三閑屋

鳥盤 木賊 白芍薬



草をよむ

同局

いふふふふふふふ

あふふふふふふ

あふふ

あふふ

和繪合

うらたえんしはらり
 十本

壽菊瓶

上梅枝

下仙荳

五本



三松風

三重切松柳菊

みまへて

ひらひらと

ゆらゆら

きんぎょ

松風



三橋姫

廣口 牡丹 河骨

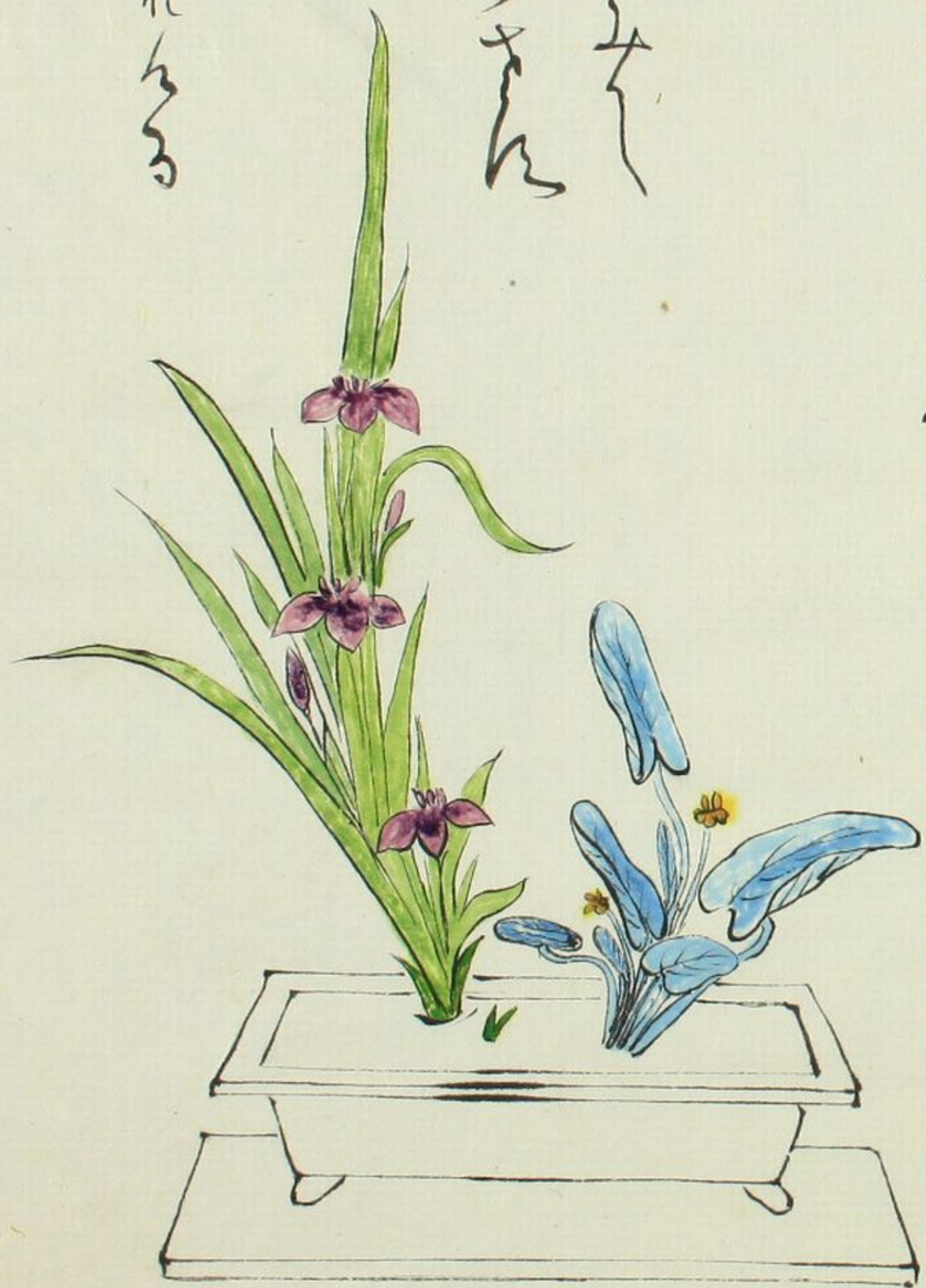
橋姫乃

しらね

あまのせき

橋のつらね

あまのせき



剛推か本

馬盥

檜 晒三石苔
山形花 忍草



志下ろし

日影おかし

松の本

挿れ 可なり

志下ろし

三宿り木

五重切

杉山檜

藪相子

宿り木を思ふは所は
いふをわきに



左の枝

いふに

さしし

四 吾妻屋

懸瓢

椿



はしをみる花や志をき

はるるるる

ありしはるるるる我しだん

川乙女

二重切 上松 下羽衣草

この子の神さかぬら

あきらめん

ふるり

の

は

あめ



三玉葛

三重切上蔓物 下二重沢物水物



上玉葛
中玉葛
下玉葛

いかに
すま
長あまめらん

三胡蝶

掛籠
れこま
あやふ



花ぞの胡蝶や
あまらけの
らりてらむ

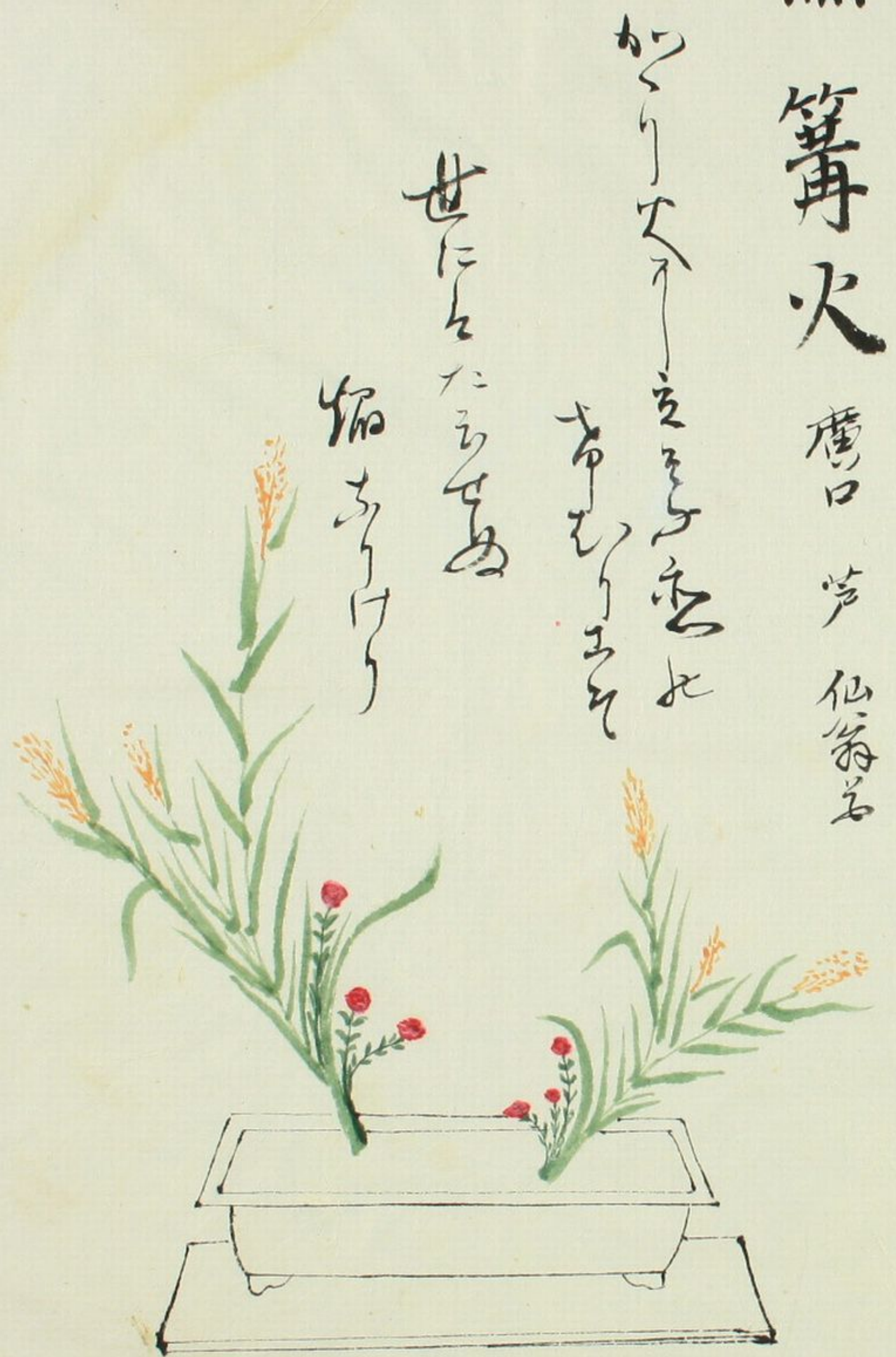
常夏

三重功 桐子一色



篔簹火

廣口 芦 仙翁名



野分

上二重之萩
三重切下重菊

同

あさぎ

あさぎ

甲斐

あさぎ

あさぎ



御幸

とよはまの御幸
あさぎの御幸
あさぎの御幸
あさぎの御幸



剛真木柱

四
 上
 中
 下

上
 中
 下



三重切
 模大自菊
 赤中菊
 又赤橙子

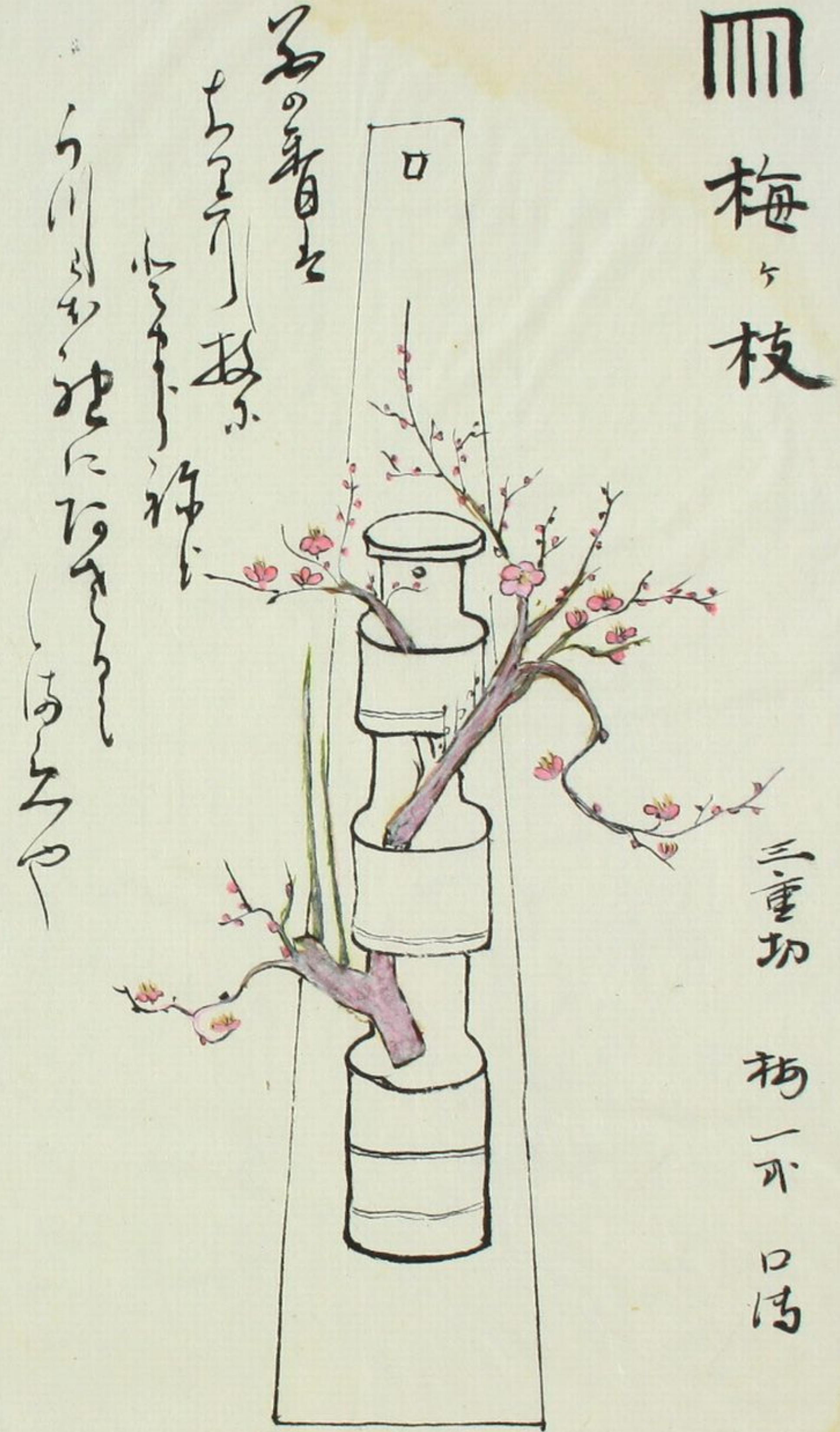
藤袴

お別れ
 下
 上



三重切
 上藤袴
 下菊

四 梅ヶ枝



四 横笛



枝のよのよは葉のよのよ
 枝のよのよは葉のよのよ

雨句宮

三重切

梅姫

古中菊

蘭



あはれ

花はとわし

あはれ

あはれはともよみあはれ

四紅梅

一重切

紅梅著莖



あはれ

風の香は

園の香

斗り香の袖は

あはれ

四竹川

竹川花

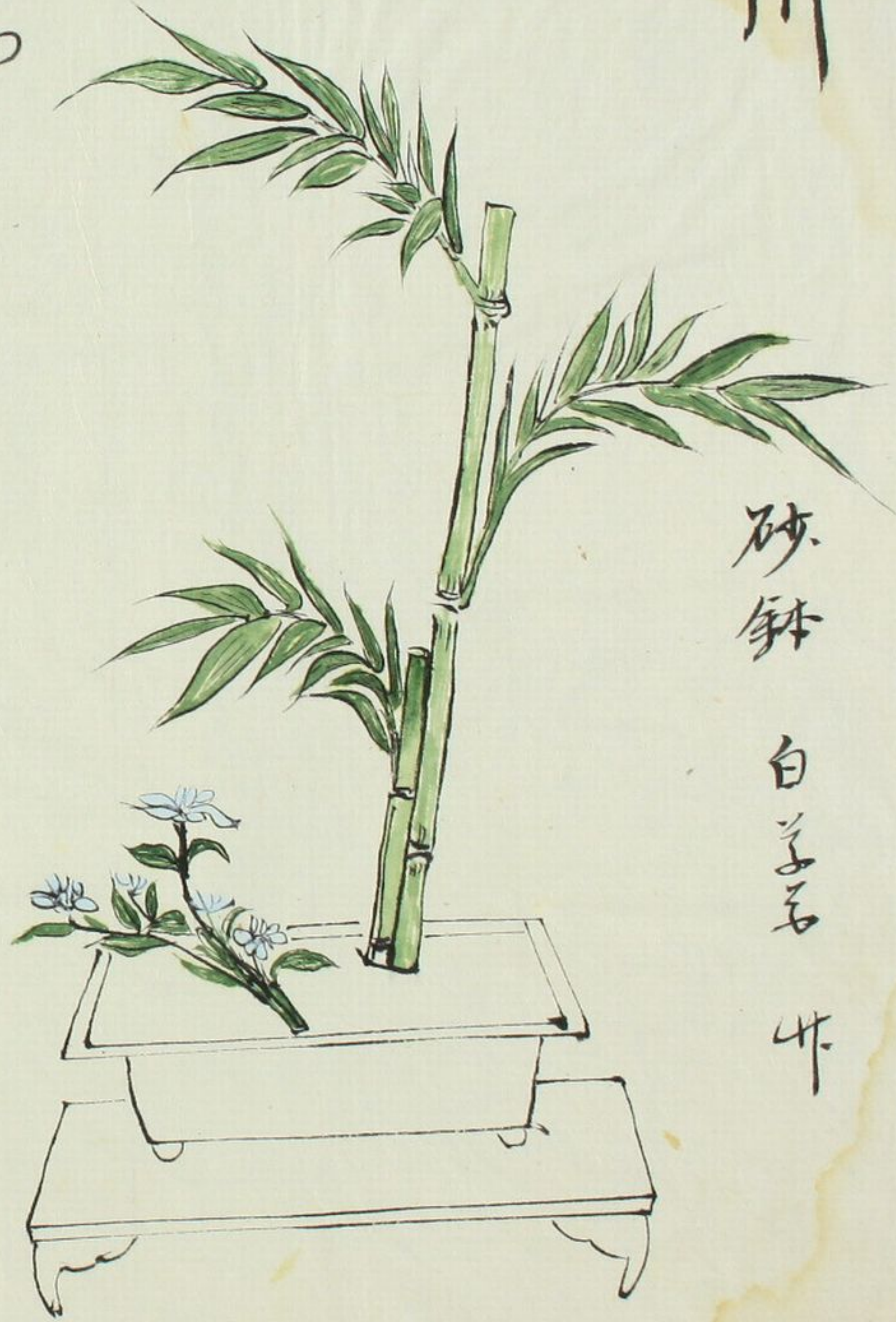
格々々

一節

深さ

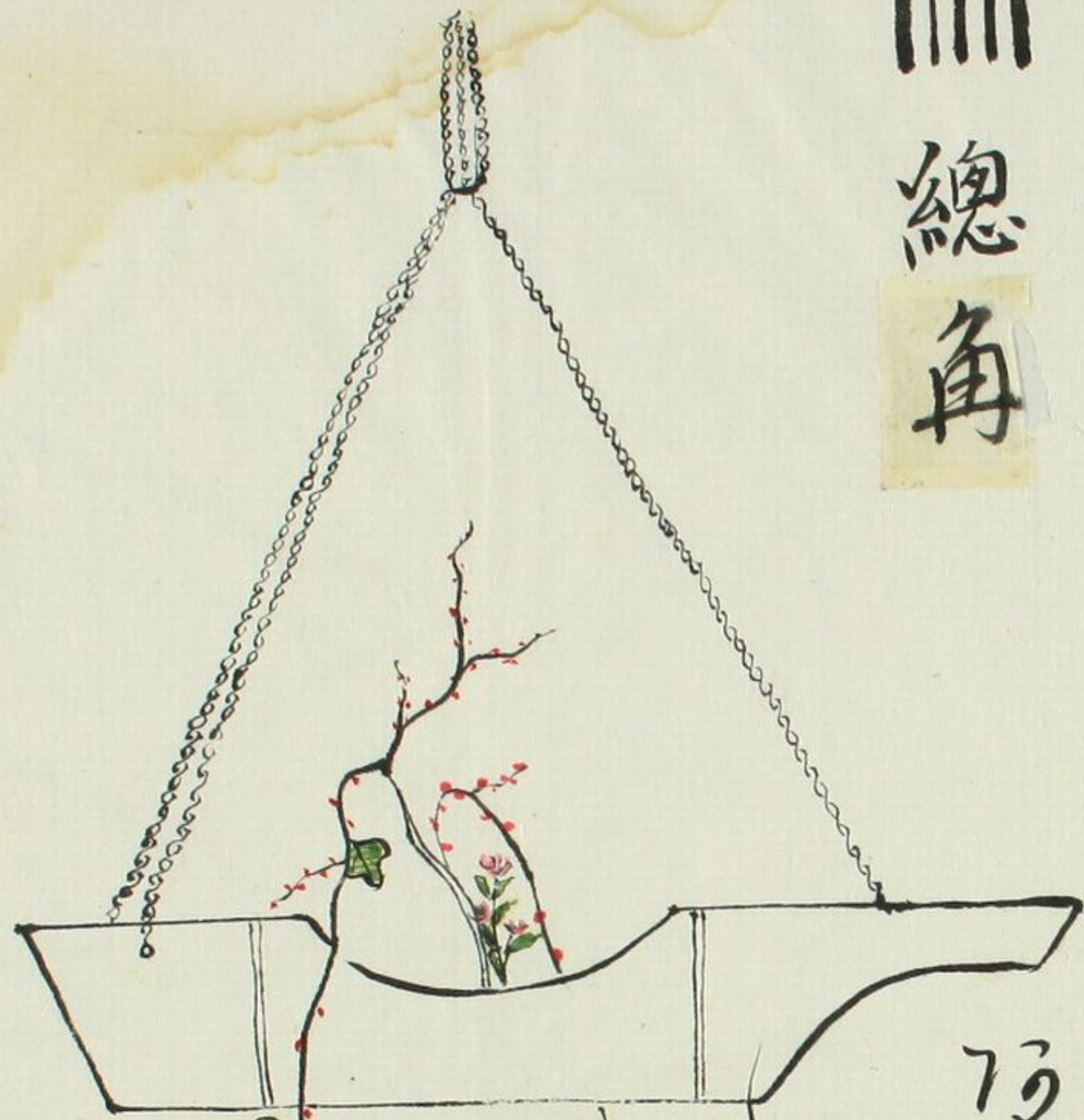
さし

さし



砂鉢 白子石 竹

四總角



深さ 竹川花 格々々

さし

さし

さし

さし

釣舟 蔓物

枯枝

小菊 三石

早蕨

此上之玉

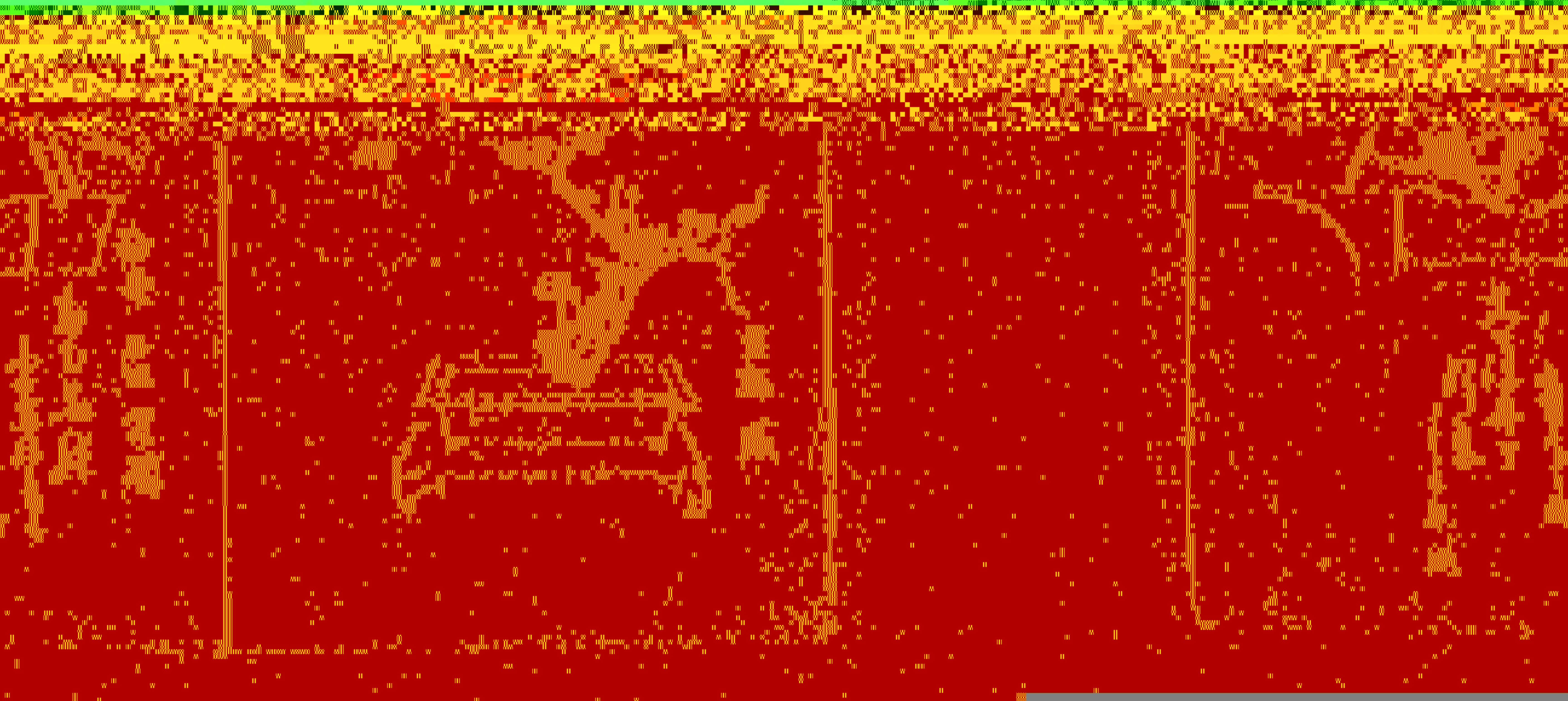
大抵はこれなり

あま

うらなひたし

早

浮舟



雨陽火

廣口舟状 古菊



何れに
 花の
 足
 清

四季習



五重の
 花五種
 下至方計

し
 花の
 下
 方

四夢浮橋

法之人
在女子道
其多又

思得此山

多子



砂鉢 白蓮